

2023年7月28日

北海道マラソン 2023 のオフィシャルウェアパートナー On、  
大会記念 T シャツに BRING™ の T シャツ製品をボディに採用決定  
— 昨年のランナーから回収した不要なランニングウェアをサステナブルな大会記念 T シャツに —

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）が運営する「BRING™」の T シャツ製品が北海道マラソン 2023 のオフィシャルウェアパートナーであるスイス発のスポーツブランド「On」に大会記念 T シャツのボディとして採用されました。

今回の T シャツは、2022 年の大会期間中に回収された不要なランニングウェア（ポリエステル繊維 100%のものに限る）をリサイクルして、再生ポリエステルを原料に製造されている点に大きな特徴があります。



北海道マラソンは、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けてさまざまな取り組みを推進しています。取り組みの一環として、オフィシャルウェアパートナーの On は「サステナブルで地球環境にやさしい T シャツ」を 2022 年から提供し、2023 年本大会の記念 T シャツは、昨年の大会期間中に回収された不要なランニングウェアの内ポリエステル繊維 100%のウェアを原料の一部に使用。JEPLAN 独自の PET ケミカルリサイクル技術によりリサイクルし、100%繊維由来の再生ポリエステルのオリジナル T シャツとして製作されました。

T シャツのデザインはグラフィックデザイナーの加瀬 透氏が手掛け、T シャツの前面には「2022 年の大会で 117kg の不要になったランニングウェアを回収し、2023 年の大会記念 T シャツに生まれ変わった」というグラフィックのプリントが特徴です。イベントの記念品のみならず、スポーツシーンや普段使いなど、さまざまなシーンでも着用ができるよう、素材に加えデザインにもこだわりもった T シャツです。なお、今年も昨年に引き続き、不要なランニングウェアの回収を会場にて実施します。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というビジョンの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーの牽引に努めてまいります。

## ■北海道マラソン 2023 大会記念 T シャツ デザインについて



Front



Back

### 【グラフィックデザイナー 加瀬 透氏について】

#### <プロフィール>

1987年、埼玉県生まれ。美術・書籍・音楽・ファッション等の領域でのグラフィックデザインワーク、またグラフィックそのものの「弱さ」や「自立」を巡る制作・展覧会を行い、各種メディアへのコミッションワーク等も行う。近年の展覧会に『2つの窓辺』(CAGE GALLERY\_2021)等。受賞歴に JAGDA 新人賞等。京都精華大学 メディア表現学部 イメージ表現専攻 非常勤講師 (2023-)。

#### <コメント>

今回ご依頼を受けて考えたのは、端的に「移動すること」についてです。ここ数年間「移動すること」に制限があったと思います。そういった今までの日常ではない日常を通して、「移動すること」にふと想いを巡らすことが何度かありました。「移動すること」によって、湧き上がる高揚感や楽しい気持ち、新しい出会い、そういうことを改めて想う機会がありました。そういった「移動すること」とマラソンというものを重ねて今回のデザインを考えました。

## ■北海道マラソン 2023 について

大会 HP : <https://www.hokkaido-marathon.com/>

開催日 : 2023年8月27日(日)

主催 : 北海道マラソン 2023 組織委員会

ランニングウェア回収概要 : 不要になったランニングウェアを「北海道マラソン EXPO2023 会場内、On ブース」にて回収いたします。

## ■On について

On は、スイスで誕生したスポーツカンパニーです。ランニングセンサーションの革新を目標に掲げ、ブランド立ち上げからわずか 12 年間で、アメリカ・ポートランド、ドイツ・ベルリン、日本・横浜、中国・上海、オーストラリア・メルボルンなどに拠点を置き、ランニング、アウトドア、そしてライフスタイルにおけるプレミアムなシューズ、アパレル、アクセサリを市場に届けています。

On 独自の CloudTec®システムは世界特許を取得しており、ワールドチャンピオンやエリートアスリートたちは On で勝利を挙げ続けています。2019 年 11 月には、世界的テニスプレーヤーであるロジャー・フェデラーが加入。フェデラーは、On の製品開発やスポーツマーケティング、企業文化の醸成など多方面で貢献していきます。2020 年 7 月にはスイスオリンピックチームのオフィシャルパートナーとなっています。On の革新的なプロダクトは多くのファンを魅了し、世界 60 ヶ国以上で販売されています。

## ■BRING について (<https://bring.org/>)

「服から服をつくる™」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド BRING は、様々なアパレルブランドなどと協力をして使われなくなった服の回収をおこなっています。BRING が回収した服は、リユースまたは素材ごとにリサイクルされます。そのうちポリエステル繊維 100%の服については JEPLAN 独自の PET ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」により 100%繊維由来の再生ポリエステル「BRING Material™」にリサイクルされ、新たな服等の原料や服として生まれ変わります。

## ■株式会社 JEPLAN (<https://www.jeplan.co.jp/>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007 年 1 月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

「あらゆるものを循環させる」をビジョンに掲げ、広くサプライチェーンに携わりながら、独自の PET ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」を用いたものづくり、事業開発や技術ライセンスの展開を推進することで、限りある資源の循環を実現し、CO<sub>2</sub>の排出量削減に寄与しています。

独自のケミカルリサイクル技術と資源循環の仕組みづくりにより、不要な衣類を回収し「服から服をつくる」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド「BRING」の運営や、自治体や企業との連携によりペットボトルを何度でも繰り返しリサイクルを実現する資源循環の事業に取り組んでいます。

資源循環を社会に実装するため、PET ケミカルリサイクルのプラントを北九州響灘と川崎（グループ会社：ペトリファインテクノロジー株式会社）の 2 拠点で運営しています。